

山びこ

YAMABIKO

2021
(令和3年)

10月号



剣岳
八ツ峰

バック
鹿島槍

八ツ峰
V峰ピーク



東葛山の会

No. 527

10月・11月 予定表 1

9月例会報告（出席者・議事メモ） 2～3

8月山行実績&コメント 4～5

山行案内(10月・11月・12月) 6～9

山行報告

- ・ 太平山（柳） 10
- ・ 行道山～雷電山（清水） 11
- ・ 雨巻山（前田せ） 12
- ・ 錦秋の立山(大日三山)(前田え) 13～14

備品点検表（山行部 菅谷） 15

備品点検顛末記（四元） 16

北島英明さんを偲ぶ（赤塚） 17～19

短歌「山に行かなかった八月を振り返り」（羽鳥） 20

思い出の山（山口洋） 21～22

ちょっと一言（小林和・八巻） 23

表紙写真紹介

1977年当時27歳、8月12日岳友と2人、池ノ平テント場で一泊。

13日 三の窓雪渓出合で一休み、真砂沢のテント場に着くとなんだか様子が変。聞いてみると昨夜熊が出て食料が荒らされたと言う。テントを張り、登攀具だけ持って八ツ峰にI, II峰のルンゼから取り付き、IV峰ピークから2ピッチの懸垂下降、V峰を登りピークに立つと雲海のかなたに鹿島槍が見える。V, VIの科尔に降り、今日はここまでと雪渓をグリセードで降り、真砂沢テント場に戻り眠りにつく。14日劔沢小屋にテントを移し八ツ峰へ。V, VIの科尔D フェース頭まで登りVI, VII峰の科尔から三の窓側にトラバース。岩また岩の緊張の連続、やっと劔本峰に着いたときは流石に嬉しかった。下山のカニの横ばいもなんのその、劔沢テント場に着いたら我々のテントが我が家の様に見えた。翌日室堂へ向かった。 ～赤塚義政～

会報部からのお願い <表紙写真>

11月号は菅谷眞一さん、12月号は山口洋子さんです。

その際、100字程度の紹介文を添えて、前月20日までに、会報部（鈴木か）へ提出して下さるようお願いいたします。

予定表2021年10月・11月

		10 月			11 月
1	金		1	月	
2	土		2	火	
3	日		3	水	尾白川溪谷（雨天中止）文化の日
4	月		4	木	山行部会（18:00～20:00）
5	火		5	金	
6	水	山行部会（18:00～20:00）	6	土	
7	木		7	日	
8	金		8	月	例会（19:00～21:00）
9	土		9	火	
10	日	大坊山・大小山（中止）	10	水	
11	月	例会（18:00～20:00）	11	木	
12	火		12	金	
13	水		13	土	
14	木		14	日	
15	金		15	月	
16	土		16	火	
17	日		17	水	運営委員会（19:00～）Zoom
18	月		18	木	
19	火	佐倉散策（雨天中止）	19	金	
20	水	運営委員会（19:00～）Zoom	20	土	小町山ウォーキング（雨天中止）
21	木		21	日	
22	金		22	月	編集会議（9:00～11:00）
23	土	雨引山（予備日10/24）	23	火	勤労感謝の日
24	日		24	水	
25	月	編集会議（9:00～11:00）	25	木	
26	火		26	金	
27	水		27	土	
28	木		28	日	大福山（養老溪谷）バスハイク
29	金		29	月	
30	土		30	火	
31	日				

※:2021年12月山行予定

- ★12/5（日）破風山（皆野アルプス）・・・バスハイク
- ★12/14（火）鎌ヶ谷市内ウォーキング（雨天中止）

※ 県連より・・・11/6(土) 事故防止経験交流集会

例会報告

9 月例会出席者

9/13 (月)

34 名

安彦、松本、加藤、岡部、村上、八巻、伏見、高見、前田延、山岡、村田、入江、間瀬、鈴木か、四元、江崎、三橋、石塚、嶋本、菊池、羽鳥、井上勝、山脇、梅田、前田節、赤塚、山口洋、菅原、井上順、山口幸、清水、畑中、笹、柳、

2021 年 9 月例会議事

司会 ; 会報部 清水

1, 8 月山行報告

計 6 件(ハイク;6、1 泊;2 日帰り;4)、延参加者数;24 名(男;8、女;16)

内容は、本誌「2021 年 8 月山行実績&コメント」参照

2, 山行案内

- 1) 緊急事態宣言が延長となり、9 月会山行は中止。10 月の大坊山(10/10)も中止。
- 2) 10/19 佐倉散策(入江):催行予定、下見は 10 月早々に行い、再確認後、通知するが、コース変更もありうる。
- 3) 10/23 雨引山(江崎):これから下見、10 月例会で確定する。
- 4) 11/3 尾白川溪谷(井上勝):10 月例会までに下見、本日出欠表回覧中。これによりバス予約する。
- 5) 11/20 小町山(三橋):10 月例会で募集する。土浦からバス予定。雨天中止。
- 6) 11/28 大福山(柳):小港鉄道不通のためバスに変更し、市役所発、上総大久保から養老溪谷への逆回りとする。出欠表回覧中、10 月例会で確定する。バスの会補助を含め費用を調整する。バス予約のため雨天順延は無理で中止となる。
- 7) 12/7 皆野アルプス(安彦):バス予約確保のため本日出欠回覧した。華厳の滝は全員で行きたいので、マイクロバス 2 台の前提で計画中。
- 8) 12/14 ふるさとウォーキング(入江):市内の各所9Km、3 時間のコース。
- 9) 11/6 県連(羽鳥):事故防止経験交流集会、コロナのため日帰り、メール配信済。

3, 各部報告

- 1) 事務局(四元) 事務局会議で 45 周年事業の担当を決めた。
記念品(T シャツ?)&永年会員:清水・石塚、パーティ関連:笹、伏見。
- 2) 山行部(江崎) 9/1 山行部会の報告。9/22(水)13:00 からの備品チェック、市民の森キャンプ場で行う。参加者は菅谷宛メール、体温☑の上で参加を乞う。
来年 1 月の会山行(記念山行)が未定だが、候補地を募集中。愛宕山・難台山のロジならパーティも可能……
- 3) 会報部(梅田)「やまびこ9月号」は大作だが、当初落丁があり差替えした。二度手間になった会員に謝ります。PDF の容量が大きく、圧縮をかけたが、画質等の劣化はない模様なので今後も続ける。ダウンロードとディスクスペースの節約になる。
- 4) 県連(羽鳥) ZOOM 講演会と労山カレンダー(回覧中)の案内
宝篋山の小田管理事務所が 9/26 までコロナのためトイレも使用不可で注意のこと。
- 5) 会計(岡部) 支払いの際に使う「精算書・領収書」を作った。45 周年事業にも。

4, 入会希望・見学者

- ・切嶋(きりしま)さん:きらりホールのパンプを見て見学に。
- ・見城(けんじょう)さん:八千代市在住だが、職場が鎌ヶ谷。コロナ禍で山を！ネットで見て。

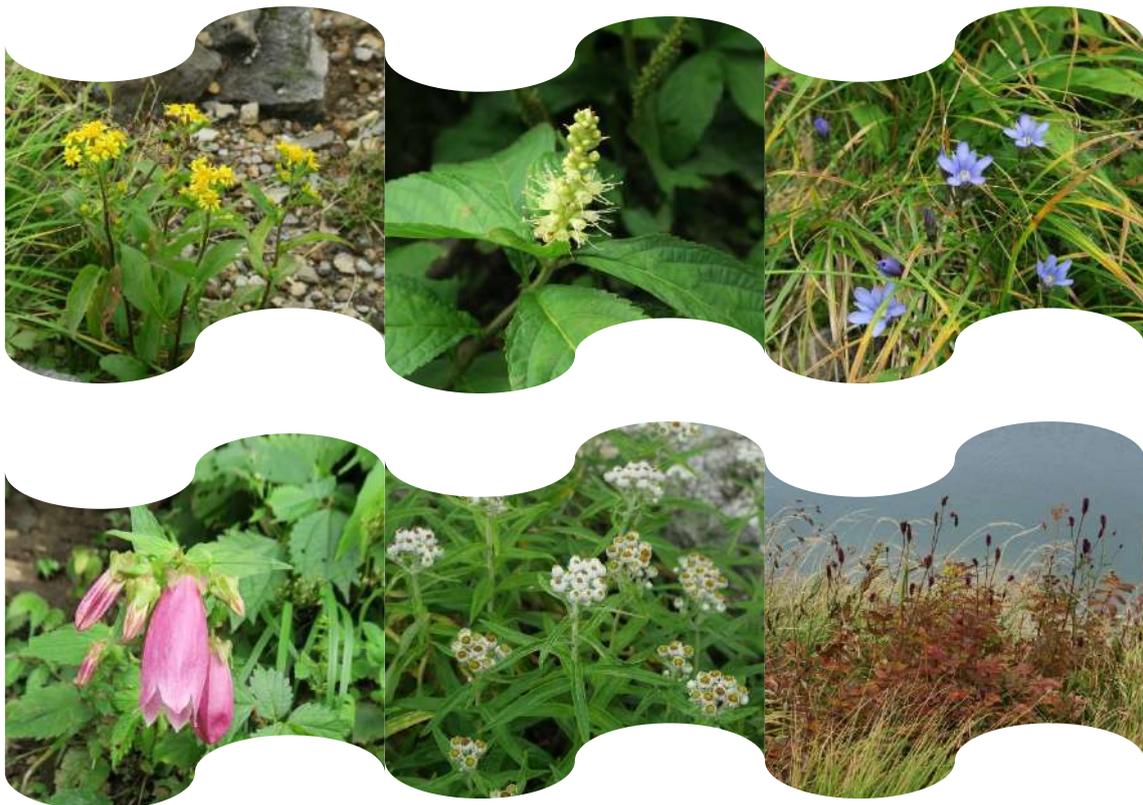
それぞれ挨拶と自己紹介あり。本日の例会後に入会に際しての説明と手続きを行う。

5, 会長より

- 1) 県連のオンライン講演 9/30(木)19:00～20:30 マウンテンゴリラの安村淳講師。
来週金曜日に配信予定。
 - ① コロナ禍の山行
 - ② 10月(日程未定)アフターコロナの山行
 - ③、④ 高所順応に関して(3～4,000mクラス)
を予定している。
- 2) 事故防止集会はコロナ禍のため人数限定だが、できるだけ参加申込されたい。
ちばニュースに掲載している。
- 3) 全国連でもZOOM講演あり。
9/29(水) 18:30～20:30 ボルダーリング&コロナ禍でも会員増の会。(無料)
ホームページに詳しく掲載されている。
- 4) 運営委員会 ZOOM 会議(9/15)の案内は明朝配信する。
- 5) 会の口座が個人名だったが、会名義に変更する。
- 6) 例会場の予約について、第2月曜の18時から21時で取り、19時から又は18時から開始としている(コロナ禍の使用時間制限&他団体との競合を避けるため)

以上

9月立山の花



アキノキリンソウ、テンニンソウ、タテヤマリンドウ
ホタルブクロ、タカネヤハズハハコ、ワレモコウ

2021年8月 山行実績 & コメント

No	山名	ジャンル	月日	山行区分	人数	参加者
1	岩櫃山(いわびつやま)・日光白根山(にっこうしらねさん)	ハ	8/5 ～6	個	4	山口幸、山口洋、石塚、鈴木か
本誌 9月号掲載 (鈴木か・石塚)						
2	尾瀬アヤメ平・川場谷(かわばだに) (渋滞による時間不足のため大薮沢から川場谷に変更)	ハ	8/5 ～6	個	4	安田、江崎、嶋本、菅谷
<p>コースタイム 鳩待峠(9:25)―横田代(11:15)―アヤメ平(11:40-12:55)―横田代(13:10)―鳩待峠(14:12)</p> <p>初日は高速道路渋滞のため、沢で昼食の後、温泉で休養。沢にはメジロアブが多いので注意が必要。</p> <p>2日目アヤメ平は鳩待峠から2時間ほどの湿原である。ほとんどの人が山ノ鼻に向かうが、それとは反対の人のいない方に向かい、洗面所の脇から上っていく。ブナやダケカンバの樹林帯が続き、時折涼しい風が来る。横田代から池塘があらわれ、至仏山や燧ヶ岳、平が岳、景鶴山など尾瀬近辺の山が見える。キンコウカが満開である。ゆっくり、のんびりして池塘の碧を堪能した。長時間の昼食をしても時間は十分である。ほとんど人に会わず、高原の風を満喫できた。草もみじや紅葉もよさそうなので、秋に訪れるのもおすすめである。(菅谷)</p>						
3	日光市内観光 (雨天のため切込湖・刈込湖から日光市内観光に変更)	ハ	8/7	個	4	岡部、井上勝、菅原、前田節
<p>奥日光の山登りの予定を天候急変の気配で中止、東照宮から憾満ガ淵、日光植物園と市内散策をしました。豪快な流れに感嘆し、お地藏さんの顔も一人一人のぞきながら、ゆっくり堪能できました。咲き始めたキレンゲショウマの群生も楽しめ、猛暑の中涼しく歩いた一日でした。(前田せ)</p>						
4	愛宕山(あたごやま) 難台山(なんだいさん)	ハ	8/12	個	4	安田、江崎、嶋本、菅谷
<p>暑い樹下は涼しい。登山者はぼつりぼつりだが、ほとんどが地元の人らしい。大汗をかいてトレーニングするには適している。(菅谷)</p> <p>連日の猛暑で暑さを覚悟して出かけましたがお天気は曇り、樹林帯に入ると風もあり思いの外涼しかったです。急登、急下降の滑りやすい所には杭がうってあり、とても助かりました。行き交う人は単独の人が多く、やはりコロナ禍で近場でトレーニングをしている人が多いのだと思いました。(嶋本)</p>						

No	山名	ジャンル	月日	山行区分	人数	参加者
5	日光 切込湖(きりこめこ) 刈込湖(かりこめこ)	ハ	8/28	個	4	岡部、山口洋、井上勝、菅原
<p>涸沼は水のない沼が湿原になっていて広くのどかな光景。刈込湖は山の緑、空の青、枯木を映す美しい湖。23度の涼風で夏にお勧めのコースです。秋の紅葉の時期にも行きたいです。(山口洋)</p>						
6	太平山(おおひらさん) 岩船山(いわふねやま)	ハ	8/28	個	4	石塚、猪狩、柳、清水
<p>本誌10月号掲載(柳)</p>						

8月の会山行「燧ヶ岳」、「飯盛山」及び9月に移動した「入笠山(ウォーキング)」はコロナウィルス感染防止のために中止しました。

古…古道 ハ…ハイキング ウ…ウォーキング 沢…沢登り 縦…縦走 岩…岩登り 雪…雪山、スキー



白馬岩岳・マウンテンハーバー

2018年オープン、北アルプスの絶景が一望できる山頂テラス

ねずこの森ウォーキングコースにて
9月23日(きりゅう)

ねずこ(鼠子)
別名…クロベ
ヒノキ科クロベ属の常緑針葉

山行案内

10月の山行予定

*大坊山・大小山 (だいぼうさん・だいしょうやま)・・・中止

日程：10月10日(日) <日帰り> 雨天中止

幹事：(CL) 安彦秀夫 TEL：090-5827-0571 (SL) 石塚、山口(幸)

*佐倉散策

日時：10月19日(火) 雨天中止

(担当)：(CL) 入江、(SL) 高見

*雨引山 (あまびきやま) 409.3m 体☆

日時：10月23日(土) 雨天時・10月24日(日)

担当：(CL) 江崎、(SL) 岡部・畑中

11月の山行予定

*尾白川溪谷 (おじらがわけいこく) やや きつい ☆☆☆

溪谷沿いの紅葉を楽しむ (日本名水百選)

日時 11月3日(水) 雨天中止

集合：鎌ヶ谷市役所 5:30

交通：鎌ヶ谷観光バス

(往路)：鎌ヶ谷市役所 5:30～尾白川溪谷駐車場 9:00 予定

(復路)：尾白川溪谷駐車場 15:00 発～鎌ヶ谷市役所 19:00 予定

コース

尾白川溪谷駐車場 (0.20)・・・竹宇駒ヶ岳神社・・・千鳥ヶ淵 (0.40)・・・旭滝 (0.30)・・・百合ヶ淵 (0.10)・・・神蛇滝 (0.50)・・・不動滝 (0.45)・・・龍神平 {尾根道} (0.50)・・・竹宇駒ヶ岳神社・・・駐車場

歩程：標高差 上り：360m (2時間30分) 降り：345m (1時間40分)

費用：(概算) バス代約10,000円位

担当：(CL) 井上勝、(SL) 山脇、小林、上原、山口洋

*小町山ウォーキング

日時：11月20（土）雨天中止

交通：

（往路）：新鎌ヶ谷7：03—柏7：19_7：31（常磐線・水戸行）—土浦8：05

土浦—（タクシー30分）—小町の館

※（車中では離れて座る）

（復路）：小町の館（タクシー30分）—土浦—柏—新鎌ヶ谷

コース：小町の館…（尾根コース）…小町山…（天の川沢コース）…小町の館

※ 歩行時間約3時間

交通費：約4000円超 新鎌ヶ谷⇄土浦 約2000円

タクシー代 4人乗り4000円超

担当：(CL) 三橋 (SL) 山岡

*大福山 (292m) ゆるい山 ☆

紅葉の観賞・展望台からは房総丘陵を一望

ハイキング後は栗又の滝、道の駅たけゆらの里おおたきに立ち寄ります。

日程：11月28日（日）雨天中止

交通：バス利用（鎌ヶ谷観光バス）

募集：25名

費用：約5,000円（参加人数により変更あり）

行程：鎌ヶ谷市役所 5時30分出発 鎌ヶ谷帰着 18時00分

コース：上総大久保駅→大福山→養老溪谷駅→栗又の滝→道の駅たけゆらの里おおたき

歩行時間：約3時間30分

担当：(CL) 手塚 (SL) 加藤、柳、永木（応援）

12月の山行予定

*鎌ヶ谷市内ウォーキング

日時12月14日（火）雨天中止

集合：新鎌ふるさと公園 9:00

コース：ふるさと公園…栗野の森…市制公園…稻荷神社…貝柄山公園(昼食)…ファイターズ・スタ

ジアム…八幡春日神社…根頭神社・市民の森(キャンプ場)…八幡神社…東武・鎌ヶ谷駅

約9km 実歩約3時間

担当：(CL) 入江、(SL) 高見

<会員バスハイク>

皆野アルプス：破風山（はっぷさん）627m

ミニ岩稜の『皆野アルプス』を歩いて着いた山頂からの展望は抜群！
多くの会員が参加できるように『2コース』を設定！

日程：12月5日（日）<日帰り>

集合：鎌ヶ谷市役所 午前6時集合/出発（午後6時40分帰着予定）

交通：鎌ヶ谷市役所→三郷南 IC→<東京外環道・関越道>→高坂 SA（休憩）→
→<関越道>→花園 IC→<R140>→寄居風布 IC→<皆野寄居道路>→
→皆野長瀬 IC→道の駅みなの（休憩）→破風山登山口駐車場（①降車）→
→秩父温泉満願の湯（又は、風戸入口バス停）（②降車）…<ハイキング>…
…水潜寺入口→秩父華嚴の滝駐車場 15：35→往路を戻る



ハイキング：歩行時間：休憩含まず（皆野町・破風山登山マップ参照）

①やや健脚コース(皆野アルプス縦走)：約3時間15分/約5.6km

破風山登山口駐車場 9：30…大淵登山口…風戸分岐…破風山…札立峠…
…水潜寺…水潜寺入口→秩父華嚴の滝駐車場

②ふれあいコース(関東ふれあいの道)：約2時間10分/約4.3km

秩父温泉満願の湯（又は、風戸入口バス停） 9：45…風戸分岐…破風山…
…札立峠…水潜寺…水潜寺入口→秩父華嚴の滝駐車場

（関東ふれあいの道『秩父盆地を眺めるみち4.3km』を完歩！）

☞ 水潜寺入口～秩父華嚴の滝駐車場：マイクロバスで移動予定。歩いて約15分！

☞ 秩父華嚴の滝（秩父八景）：駐車場から滝まで約600m（見学含めて往復約30分）

☞ 水潜寺：秩父34霊場&日本百観音霊場(西国・坂東・秩父)の結願寺(けちがんじ)

費用：見積額247,500円（『大型バス&マイクロバス』2台、有料道路料金、消費税）
→約8,000円/人（30名参加の場合）（会からバス代の一部を補助予定）

装備：雨具、防寒具、昼食、水筒、行動食など

担当：CL：四元一成 SL：桐生千恵子、村田綾子、間瀬芳枝、井上順之、安彦秀夫
『(やや) きつい山』と『(やや) ゆるい山』の合同で実施します。

備考：コロナ感染防止対策をしっかり行って参加して下さい。検温忘れずに！

バス移動途中での休憩(SAや道の駅など)では、特に注意して下さい。手指洗浄！

<1> バス内ではマスク着用、飲食禁止、大声会話自粛に協力をお願いします。

<2> ハイキングは、『班』毎に行動します。

<3> ハイキングコース途中にトイレは無く、水潜寺境内にあります。

<4> コロナ禍ということもあり、お風呂タイムは設けていません。

<5> バスは、乗車定員の半数以下で利用します。。

県連関係予定行事

2021 事故防止・経験交流集会の案内

千葉県勤労者山岳連盟・教育遭難対策委員会

今年も事故の共有化・再発防止と各会交流を趣旨に開催します。

今回は、千葉市内の公民館で日帰りを実施し、参加しやすくしましたので、各会 の積極的な参加を期待します。

詳細は下記を参照下さい。

記

- 1) 主催 千葉県連盟・教育遭難対策委員会
- 2) 日時 11月6日(土) 10時-16時30分(9時30分より受付)
- 3) 場所 千葉市幕張勤労市民プラザ 多目的ホール
JR 海浜幕張駅より徒歩 13 分
*館内で食事はできません。
- 4) 内容
 - (1) 事故報告
今年度発生 of 事故報告
 - (2) 転倒事故防止対策
過去 32 件の転倒事故の分析と対策
 - (3) 事例研究
事故事例のビデオ視聴とグループ・ディスカッション
 - (4) 長野県山岳総合センターの講演ビデオ視聴
「山のグレーディングと登山体力セルフチェック」
自分の力量に合った山を選んで登ることを学習
 - (5) フリーディスカッション
希望するテーマ (ハイキング、クライミング、雪山など) のグループに
参加し自由な意見交換による情報交流
- 5) 参加申込/締切
別途配布の参加申し込みフォームにて 会で一括申請
教育遭対委員会 伊東 : itou2385@yahoo.co.jp 090-1774-3384 10/22 締切
参加者は 40 名程度 (スタッフ含む) を予定しており、申込多数の場合は、調整する事が有ります。
また、当日はマスク着用、手洗い・手消毒を徹底して実施します。

山行報告

太平山

柳 嗣穂

日 程：8月28日(土)

参加メンバー：猪狩さん、石塚さん、清水さん、柳（記）

久しぶりの山歩きです。東武線の新大平下駅で降りて市街地を歩き太平山神社に向かいます。太平山神社の参道には1,000段はあろうかと思われる石段がそびえたっています。石段のゴールが見えないほどです。一気に登るのはきつかったです。この坂は、春は桜、6月はあじさい、秋は紅葉の名所として知られているそうです。天気はまあまあだったので太平山神社からは栃木市を望むことができました。

太平山神社でお参りをした後は、晃石山に向かいます。途中富士浅間神社に立ち寄りましたが、コースとしてはそれほどの難所はなかったと思います。まずまずのハイキングコースでした。

当初の計画では晃石山から馬不入山を経由して岩船山も登る予定でしたが、私にはその余力がなく馬不入山から下山になったのが大変有難かったです。やはり、日々のトレーニングの重要性がよくわかりました。登山から1週間は腰が痛んでいました。

山の中は木々で陽が遮られて直射日光は当たりませんが、下山して駅までの市街地はアスファルトの照り返しもあり非常に暑かったです。帰りの岩舟駅に着いたら呑める一杯のビールを大変楽しみにしていた清水さんが間違えてノンアルコールのビールを買ってしまったのを失礼ながら笑ってしまいました。



地獄の石段

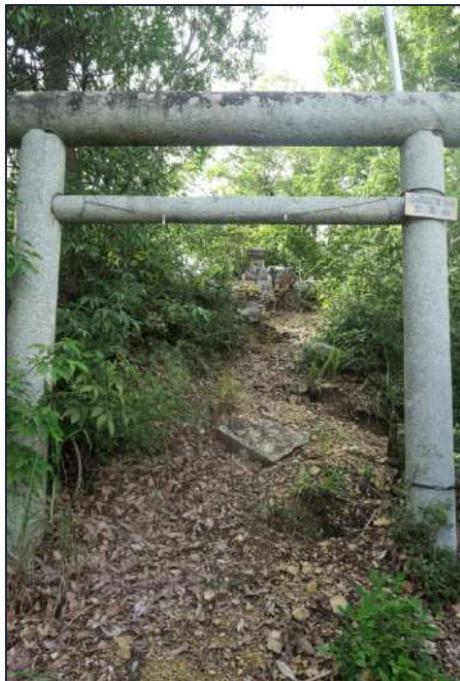
行道山～雷電山

参加メンバー：鈴木か、前田え、山口よ、羽鳥、清水(記)

9/5(日)行道山に行ってきました。9月に入りめっきり秋らしくなった足利の駅前に久しぶりに降り立ち、マイクロの乗り合いバスで行道山に向かいました。途中から長い石段を登り浄因寺の山門にたどり着きます。関東の高野山といわれる境内は長い歴史を感じせる趣があり沢山の石仏(33000体あるらしい)やちょっと意外なサイズの寝釈迦などがあり楽しませてくれます。このお寺、現在は住職が不在で空き寺となっているようで、野良猫と化した猫ちゃんが2匹仲良く留守番をしていました。歴史あるお寺だけに少し残念です。また境内から見る清心亭や天高橋なども素晴らしいですね。

浄因寺を出発し暫く歩くと標高441mの行道山に到着です。山頂からは足利の町並みが見えますが景観は標高が低いのでそれなりの景色です。その後大岩毘沙門天を参拝して雷電山(223m)に登ると石の鳥居があります。鳥居の裏に雷電山の山頂の標識がありそこが山頂だとわかりました。鳥居には避雷針らしきものが括り付けられていて避雷盤のような円盤が落ちていました。雷電山の名前の由来が知りたいなと思いましたが、説明のようなものは何もありませんでした。雷電山から雷電神社の下山口に向けて下り本日の山歩きは終了です。

雨上がりでしたが水はけのよい土質で泥濘もなく、良く整備された山道と秋らしい気候も相まってとても歩きやすく良い山旅ができました。駅に到着してのビールもとても美味しく戴きました。



雷電山頂上
鳥居の奥に祠がある。

雨巻山

日程：2021. 9. 11 (土)

参加メンバー：清水・菅原・石塚・柳・前田せ(記)

9/11(土) 栃木県南東部茂木町と益子町の境にある雨巻山に行きました。

いろいろと計画してくださった岡部さんが、ご家族の事情で急に不参加になり残念でした。常磐線の龍ヶ崎市駅で待ち合わせ、清水 car と柳 car に分乗し大川戸登山口に向かいました。お天気は曇り時々雨の予報。駐車場にはすでに20台近く停まっていた。ポツポツと降る小雨の中を出発。樹林帯なので濡れずに歩きました。いくつかあるコースの中で沢コースを行くと、昨日までの雨で水量が増し登山道まで水が流れ、ちょっとした沢登り気分でした。

第一のピーク足尾山を過ぎ快調に尾根歩き。御岳山、峠とジグザグの道や岩場・鎖場を慎重に登り、雨巻山山頂に到着。山頂には元気な子供たちの声。麓の駐車場わきのピザ屋さん(コロナで休業中)の家族や仲間たちの団体がお弁当を広げていました。昼食後は大川戸三登谷山尾根コースで下山。低山ながら足尾山・御嶽山・雨巻山・三登谷山を縦走し、その他名もないピークもいくつかあり、歩きでがありました。晴れれば東京スカイツリーや富士山、日光連山などの展望が楽しめるのですが、生憎の小雨で見渡せず。お楽しみは次回に。



雨巻山は、益子県立自然公園内に属し、近年ハイキングコースや駐車場が整備され、多くのハイカーに人気のコースとして知られています。今年の3月の会山行で計画されていましたが、コロナ感染で中止となりました。コロナが収まったら、会の皆さんと行ってみたいです。

錦秋の立山（大日三山）

日 程：9月22日(水)～24日(金)

参加者：鈴木か、山口よ、前田え（記）

9/22(水)

お天気模様が怪しい中1週間遅れの山行に出発。

朝、上野を発ちお昼過ぎには美女平から室堂に。曇り空の中、バスは「天空ロード」を走りきれいな紅葉が車窓から眺められた。すばらしい紅葉が期待できそう。今日の宿「雷鳥荘」までのんびり歩いていたら雨が降ってきたので慌てて宿へ。快適な山のホテルです。「労山カード」で500円引きでした。その後雨が降り続いていたり、床暖房が効きすぎ暑かったりとなかなか眠れなかった。

9/23(木)

予報通り朝から素晴らしいお天気になった。

錦秋の紅葉の中をルンルン気分で行くことができた。チングルマ、ナナカマド、ミネカエデ等々言葉に表せない美しさ、今が盛りです。ブルーベリーとイチゴが食べ放題です。

奥大日、中大日、大日岳を登り、今日の宿大日小屋へ。

建て替えられたばかりのきれいな小屋になっていた。コロナ対策でカーテンに仕切られた個室になっています。定員も半数に減らしているとの事。



室堂の紅葉



ナナカマド

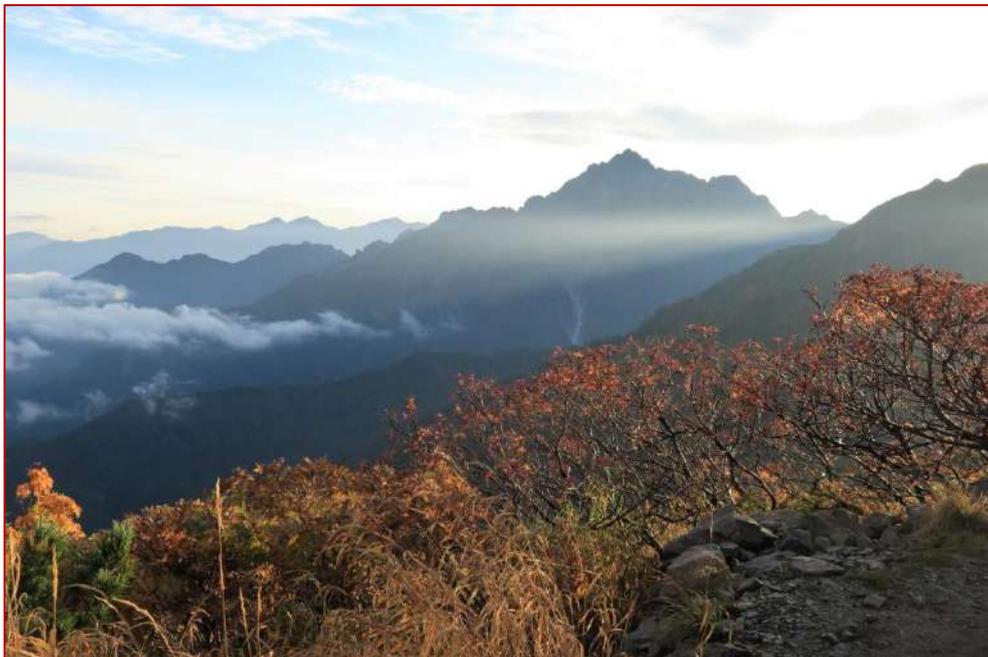
チングルマ



9/24(金)

晴れた朝、正面には劔岳がデーンと構えその隣の別山から朝日が出て。近くの毛勝三山の周りには雲海が素晴らしい景色を演出。今日は称名滝目指しての長~い下り、前に歩いた時の記憶があまりなくこんなに厳しかったのかと体力の衰えを痛感した。称名滝を見学し帰途に。

立山から富山駅まで奥大日岳でお話しした新潟から来たという男性に車に乗せてもらうというおまけつきで（なんと赤いルノーでした、人生初体験）。楽しい山旅は終わりました。



大日小屋から劔岳 am6:20

備品一覧点検表

2021/9/22
山行部 菅谷

新 No.	旧 No.	品名	種類/個数	備考(状態・汚損等)	廃棄	保管場所 (新)
1	3	テント	3人用(ダンロップ)		しない	菅谷
2	5	テント	2~3人用(アライ)		しない	菅谷
3	6	ツェルト	2~3人用		しない	菅谷
4	9	ツェルト	2~3人用(グリーン)		しない	菅谷
5	14	バネ秤	1個		しない	四元
6	15	カラビナ、エイトカン	5枚 +1枚	講習等で使用	しない	赤塚
7	22	コップェル	1セット	コップェル、プライパン等 調理器具	しない	江崎
8	23	腕章	10個		しない	四元
9	24	会旗	大(1)小(12)		しない	四元
10	25	会旗用 ポール	小5本		しない	四元
11	28	名札ケース	47個		しない	四元
12		ザイル	8~9mm?	講習等でのみ使用	しない	赤塚
13		ザイル	8~9mm?	講習等でのみ使用	しない	赤塚
14		細引き		会山行等で使用	しない	菅谷
15	1	テント	8人用(ダンロップ)	摩耗	廃棄	
16	2	テント	6人用(ダンロップ)	摩耗	廃棄	
17	4	テント	4人用	破損	廃棄	
18	7	ツェルト	1人用		廃棄	
19	8	ツェルト	2~3人用		廃棄	
20	10	ツェルト用ポール	3組6本		廃棄	
21	11	銀マット	10枚	保管不可能	廃棄	
22	12	ブルー シート	1枚	保管不可能	廃棄	
23	13	ザック	1個(45ℓ)		廃棄	
24	16	ザイル	8.5mmφ×50m	消耗	廃棄	
25	17	補助ザイル	7mmφ×20m	消耗	廃棄	
26	18	ビーコン	3個	廃棄予定(一時保管)	廃棄	
27	19	スノー スコップ	3個		廃棄	
28	20	スノーソー	3個		廃棄	
29	21	医薬品	1セット	使用不可	廃棄	
30	27	GPS	1機	廃棄予定(一時保管)	廃棄	

「廃棄の条件」

使えそうな備品も有るが、今後の活用頻度、新たな保管場所の確保、管理の手間暇、古くなった備品の性能・信頼性…等を総合的に検討し決定した。

備品点検作業の顛末記

四元一成

備品の点検作業（兼棚卸作業）は9月22日（水）13時から、鎌ヶ谷市民の森キャンプ場で山行部主催で行われました。事務局でも、6、7年前に計画しましたが、実現しませんでした。

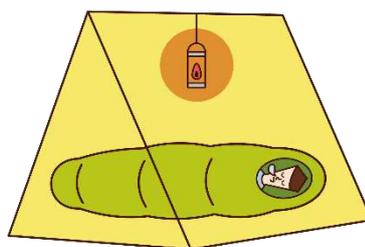
朝方、雨が降りましたが、その後は天気も良くなりました。参加人数は10人でした。13時前に着くと、テーブルの上に備品が並べられ、番号札が付けられていました。また、備品一覧表と蚊取り線香が3～4個備えられて準備万端でした。線香の煙がたなびいていましたが、蚊の多さには困りました。

13時に備品点検が始まりました。大変なのは、テント、ツェルトを張ることでした。テント、ツェルトを蚊に刺されながら張る作業は、キャンプをしている気分でした。1時間ばかりで作業は終わりました。

最後に盛り上がったのは、廃却備品のオークションでした。一番人気があったのは、10枚の銀マットでした。あっという間に引き取られました。大型のテントの備品等も次々と引き取られました。

最後に、江崎さんが持参した冷たい美味しい梨をご馳走になりました。15時頃に全作業が無事終了しました。準備をして頂いた山行部の皆さん、その他、お手伝いの皆さん有難うございました。最後に、長い間、備品の保管に協力して頂いた高見さん、北川さん大変有難うございました。

以上



「北島英明さんを偲ぶ」

赤塚義政

「小赤石岳の遺体身元は、横浜の男性、昨年末に遭難」 あなたの静岡新聞より

2021.5.31 静岡中央署によると、25日夕に県警ヘリがパトロール中、遺体を発見した。28日に同署山岳遭難救助隊が捜索に出発し、30日午前に収容した。

2021.6.2 静岡中央署は5月30日に南アルプスの小赤石岳（静岡市葵区）の山中で見つかった遺体の身元が、昨年末に遭難した横浜市港北区の男性社員（61）と判明したと発表した。同署によると、親族による確認や所持品などから特定した。解剖の結果、死因は低体温症とみられるという。男性は単独登山していた2020年12月30日に「道に迷った」と110番した。同31日に家族と電話したのを最後に、連絡が取れなくなっていた。同署と静岡市消防局は21年1月5日、天候不順と二次災害の危険があるとして、捜索活動を一時打ち切っていた。

東京都山岳連の救助隊長、日本山岳協会遭対常任委員、日本レスキュー協議会委員等、山岳救助の専門家である「北島英明さん」が南アルプス小赤石岳で遭難。山岳救難の専門家が「他人事」ではない「自分事」となってしまった。大自然に踏み込んだ時点で、初心者でも山の専門家でも、関係なく誰にでも起こり、そして単独登山の場合はその場から抜け出すのは山岳救難のプロでもとても難しくなると言う事。単独登山の危険を今一度わが身の戒めのために考えてみた。

単独登山のメリットは自分の好きな所に、行きたい時に、自分のペースで歩き休みたい時に休める、天候や体調が不良の時はいつでも予定変更できる、自分の思い通りに動くことができる。

しかし、もし単独登山で怪我をしてしまった場合、自分で手当てをし自力で下山するか、自分で救助依頼することになる。待っている間も一人で寒さをしのぎ、励ましあう人もいません。すべての判断を自分で行うことに、滑落遭難しても気付いてもらえません。自力で助けを求め、自力で崖の上まで登らなくてはならないのです。人は危険にさらされ緊張状態のときは、能力を100パーセント発揮することが出来ません。風の音、木がこすれる音に驚き、物陰に恐怖を感じ、目の前にある物にも気付かず、無いものが見え、普段出来る事が出来なくなります。仲間がいれば励ましあいみんなで応急処置をしたり、居場所の確定（位置情報はGPSによる表示を正確に伝えましょう）や救助依頼ができ、荷物を分けて持ったり、複数人いれば怪我人を搬送したりと、一般的な行動ができる。単独登山はアクシデントが起きた時、助けを呼ぼうにも呼べない、仲間がいるかいないかで助

かる命も助からない。そのため死亡や行方不明など重大事故につながる危険性が高くなるのです。単独登山することの危険性についてしっかり把握し、府中で全国ハイキング学校で学んだ事を、もう一度振り返り、自らの心に刻み込む意味で投稿しました。

以下は、2019 年秋、府中市で開催された「全国ハイキング学校」で「山岳遭難は自分事」というテーマで「北島英明さん」(当時 60 歳)の講演に参加した時の私の感想文です(2019年12月号「やまびこ」に掲載)。
貴重な講演内容でしたので、再度掲載させて頂きました。

「山岳遭難は自分ごと」

赤塚 義政

全国ハイキング学校での日本山岳救助隊、代表理事・北島英明さんの講演より

山登りは、レクリエーションですか？スポーツですか？ スポーツならば毎年300人以上の人が死ぬスポーツっておかしいでしょ！ 私は、登山は大自然に踏み込んだ時点で、もはや冒険だと思います。一步間違えれば死の世界、浮石踏んだり、つまずいたり、靴に入った石ころを気にしたり、ちょっとした気のゆるみが大事故に繋がります。

人は2つの事を同時にやると、どこかで気が抜けて転倒したりします。人が倒れるときは、いきなり顔面からバタンと倒れ顔面強打。手をついても突き指したり、捻挫したり、骨折したり…。山登りには、事故や遭難はつきものです。遭難する人は単独、無届け男性(60歳以上のおじさん)が70%、自業自得です。

絶対にやってはいけない事は、行方不明の遭難です。お金が大変、残った家族も大変です。生きているか死んでいるか分からない、お葬式もできない、年金・税金・生命保険・住宅ローンも払い続け、本人のお金にも触れない。キャッシュカードがあればいくら現金は下ろせます。山岳遭難は自業自得です。

地震・台風・津波など自然災害の特別失踪ですと、おおむね1年で死亡認定されます。しかし一般的には7年です。2～3年後に死体が発見され免許証などで身元が判明すれば死亡認定してくれますが、出てこなければ家族は7年間苦しむことになります。行方不明の事故は、家族も巻き込んだ非常に悲しい事故に

なります。行方不明はだめです。入山する時は、身元が判明できる身分証を携帯しましょう。山で事故に合うのは仕方がないです。ただし生きて帰って来ることです。もし山で遭難したら、3日間動かないで生き延びてください。そうすれば捜索隊が必ず見つけてくれます。出来れば日中は見通しの効くところに出て、ツェルトとかエマージェンシーシートを広げて待っていてください。ヘリを見たらカメラのフラッシュをたいてください。そうすれば捜索隊が必ず見つけてくれます。

もう一つ大事な事は、遭難したら警察に電話することをためらってはいけません。人に迷惑をかけるからと言ってためらってはいけません。道迷いによる滑落や、低体温症など状況が悪化する前に電話してください。警察に電話しても、自業自得だとか今忙しいからとか、そんな事は言いません。きちんと相談に乗ってくれます。ためらわずに電話してください。「今どこそこで、こうゆう状態で動けません、どうしたらいいのでしょうか」この様に電話してください。警察はきちんと相談に乗ってくれます。もし山で遭難したら3日間動かないで生き延びてください、捜索隊が必ず見つけてくれます。

以上

会報部より

山行が数々の危険性をはらんでいる事をご存じの方は、何方も「故北島英明さん」の生前の講演内容に深い感銘を受けられた事と思います。この講演の一年後に、まさかご自身が事故に遭遇するとは、誰もが想像すらしなかった事と思います。何故ならば、事故の怖さを知り、対処方法も知り尽くしたベテランだったからです。

ベテランが何故？ 山歩きをしている我々が今一度この現実に真正面から向き合い、この死を無駄にすることが無きよう、今後の安全な山歩きの心構えとして、しかと心に刻み込み生かされればと思います。

この何とも痛ましい事故に、改めてお悔み申し上げると共にご冥福をお祈り申し上げます。



山に行かなかった八月を振り返り

羽鳥健一郎

夏の畑涼しき朝の収穫を終えて始めるラジオ体操
電車乗り月に一度の検診へ五輪の熱気感じぬ都心
テナントの書店も変り並びたる書籍も変わる元の会社の
ラインにて「少年時代」のメロディーが山の仲間の残暑お見舞い
「過去最多」感染者数とメダル数載る広島原爆の日
デルタ株感染広げ残暑日の紅葉のごとく列島染める
妹まいよりは雪来る前と念押され故郷の実家解体間近か
八月は山へ行かずに梨園の収穫作業の手伝い忙し
収穫の手伝い終えて家路へと西日の中をペダル軽やか
行く夏まどろや微睡む朝のひと時の窓からの風の涼やかなり



思い出の山旅（キャンプ・デナリ滞在ハイキング）

山口 洋子

アラスカ州デナリ国立公園内のロッジに滞在して、デナリ山麓の秋の大地を歩く 2015 年 9 月 6 日～9 月 13 日までの山旅でした。アラスカは 8 月下旬から 9 月始めにかけての短い秋が終わると、すぐに冬がやってきてしまいます。

アルパインツアーで、7 月 5 日～7 月 12 日までの夏旅と 9 月 6 日～9 月 13 日までの秋旅が、其々 10 名のみで募集がありました。キャンプ・デナリ内のロッジが 18 棟しかなく、アメリカやカナダからの旅人が多いからです。

デナリ（6168m）は、2011 年 1 月にマッキンリーから、地元先住民に呼ばれていたデナリ（先住民の言葉で「偉大なるもの」の意味）に改称されました。冒険家の植村直己さんが冬季単独登頂に成功し、その後に消息を絶った山としても有名です。

デナリ国立公園入口到着後、ロッジのバスに乗り換えてキャンプ・デナリに向かいます。途中、山の斜面にカリブー、ドールシープ、グリズリーベアなどの野生動物を発見すると、バスは止まって観察しながら進みます。そして、雄大な山々と草紅葉の真っ赤な大地が続く中を進みます。

3 日間、ロッジをベースにナチュラルリストガイド同行の日帰りハイキングがありました。難易度別の A、B、C コースがあり、私は B コースを選びました。ハイキングは、デナリや周囲の山々を眺めながら真っ赤な大地を歩きます。大自然のフィールドに道を作らないように自由に歩いたり、足元一面のベリーをつまみ食いしながら歩きます。ツンドラの大地はふかふかでした。

滞在中、天気の良い条件があれば、デナリ遊覧フライトが出ます。「今日は天候が良く、フライトが出ます。」とアナウンスがあり、デナリを間近に見られたのは幸運でした。真っ白なデナリは「偉大なるもの」の名に相応しい堂々たる山容でした。

ロッジ滞在最後の日になりました。真夜中 12 時ごろ、外にあるトイレに出ていくと、暗いはずの空が白々としていて、真上の雲がぐるぐる走り回っています。異様な光景でした。ロッジのベランダに出てときどきしながら空模様の変化を見ていると、みるみるうちに雲の集団が大きくなって空中を暴れ始め、ついにオーロラが出現し、空が緑色に染まりました。夢中でシャッターを切り続けました。写真には上手く写っていませんでした。

デナリを見ながら歩く



野生動物を遠くに見ながら歩く



11月号は蓮見さん、12月号は菅原さんです。前月の20日を目安に加藤まで提出をお願いします。

ちょっと一言

小林 和子

新型コロナウイルスの影響で外出自粛生活。
8月より、娘の嫁ぎ先で梨の販売をしているので、毎日手伝いに行っていました。
梨の種類もたくさんあり、覚えきれないほどでした。

幸水、豊水、あきづき、秀玉、黄金、新高、陽香、玉秋、秋のほほえみ、新興、
どの種も、それぞれの特徴があり、美味しいですが、私の一番は、やっぱり幸水
かな？皆さんは、どの梨が好きですか？



八巻 幸子

この暑い中、今まであまり感じたことのない痛みがあちこちにでてきました。
例えば右腕の肘の痛み、ひねるようなしぐさができなくなり、最近やっと痛みも
なくなりました。
そして腰痛はレントゲンを撮ってもらい、腰骨が少しずれているといわれました。
一日がかりでした。
この暑い中、家でコルセットをしていましたが、外に出る時は暑くてとてまして
いられませんでした。
そして鎌ヶ谷市でも感染者の新聞に載る人数の多さにびっくりでしたが、最近
は少し落ち着いているようです。
週一の体操、またお友達が声をかけてくれるのでこの近辺の散策位で、家にいる
ことが多く体重も増えてしまい、なんとかしなくてはと思っています。
またコロナが早く収束に向かってくれればと思います。

11月号の担当は伏見さんと高見さんです。

(10月20日までに柳 嗣穂宛て原稿をメールにて送付願います。)

(ヤナギ ツギホ norinatsull130@gmail.com)

編集後記

東葛山の会に入会して早いもので1年が過ぎました。山の会へは色々な山に登りたいという動機はもちろんのこと、還暦を前にして何かにチャレンジし続けなければならないという思いで入会しました。昨年長年勤めていた会社を早期に退職したため、周りの環境が急激に変わりました。すでにコロナ禍であったこともあり、辞めてから2か月ほどは何もせずに運動不足解消のため散歩をするぐらいでした。さすがに3か月目くらいからはこのままではまずいなと思いつい前から山に登りたいという気持ちがあり、山の会のHPに問い合わせをしました。

入会してからの1年は完全にコロナ禍であり、会山行などはかなり中止になりましたがそれでも10数か所の山に登り初スキーも経験しました。しかし、コロナ以前の遠慮なく山に行っていた話を聞くとうらやましい限りです。今後私はアルプスの山々に登ったり海外の山にも挑戦したいと思っています。

また、登山をご一緒させていただいた方のお顔は拝見しているのですが、入会時すでにコロナ禍でマスク姿のためにいまだお顔を知らない方も多いです。早くコロナが終息に向かい、以前と同様にとまではいかないまでも少しでも自由に山登りができることを願っています。

T.Y

ある日の新聞でこんな記事を見つけました。「黙」という字について「黙っているのは黒い犬」小さい頃我流の覚え方をしたという記事です。分解すると「黒」と「犬」になる。確かに！なるほど！

私が通っているスポーツジムでも、あちらこちらに「黙浴」「黙着」「黙シャワー」って張ってあります。このご時世「黙」という字を気にせずに早く生活したいものです。

(たみ)

原稿作成要領

用紙設定 A4

余 白 上下左右 30mm

フォントサイズ MS明朝 12P

※原稿締め切り、毎月20日までをお願いします。

<担当>鈴木か、前田せ、山岡

手書きも大歓迎です。会報部員に渡して下さい。

発行日 令和3年10月1日

発行者 東葛山の会

会 長 安彦 秀夫

編集者 梅田 尚志